

2021 年度（令和 3 年度） 豊中市立環境交流センター 事業報告書

特定非営利活動法人

とよなか市民環境会議アジェンダ 21

<目次>

1. 全体のまとめ	2
2. 施設の維持管理・運営体制	3
3. 管理運営業務の実施状況	
(1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供	1 0
(2) 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供	2 2
(3) 地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施	3 1
(4) 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供	4 5
(5) その他	4 8
4. 施設の利用状況	5 1
5. 指定管理業務に係る経費の収支状況	5 5

【報告書内の表記について】

- ・参加者数に当団体の職員は含んでいません（注釈のある場合を除く）。
- ・当団体の会員とは、当団体で活動するボランティアの市民を意味しています。
- ・「3. 管理運営業務の実施状況」内の丸番号は、事業計画時の丸番号と一致しています。
そのため、事業計画に記載のなかった内容は、○としています。
- ・当団体の会計報告は、NPO 法の改正に伴い、活動決算書（活動計算書）となっていますが、指定管理業務の経費の収支状況は、表題から当団体の活動計算書と意味が異なるため、収支決算書と記載しています。

1. 全体のまとめ

環境交流センター（以下、「センター」という）は、2018年度から第2期の5年間でスタートし、特定非営利活動法人とよなか市民環境会議アジェンダ21（以下、「当団体」という）が指定管理者として引き続き運営を担いました。

当団体は、「豊中市環境基本計画」と車の両輪のように位置づけられている、地球環境を守る市民・事業者・行政の行動計画「豊中アジェンダ21」を推進する組織として、豊中市域における持続可能な地域の実現をめざして、市民が主体となり、行政・事業者と連携して活動を行っています。センターの事業目的は、当団体が推進する「豊中アジェンダ21」の内容と一致するところであり、センターの運営を通して、「第3次豊中市環境基本計画」と「第3次豊中アジェンダ21」が共有する「望ましい環境都市像」の実現、および「第3次豊中アジェンダ21」の80項目の行動提案の達成をめざして、センターの管理・運営を行ってきました。

実施に際しては、リサイクル交流センターと環境情報サロンの機能統合という経過を踏まえ、市民や市民団体の集う場（環境プラットフォーム）として、市民が参加・参画した形での運営を行いました。さらに、環境活動に関心のある市民はもとより、環境問題に関心のない市民も気軽に立ち寄ることのできる場づくりの実施、および、多様な分野との連携もめざしました。センターの事業の一部は、当団体の各部会・プロジェクトのメンバー（ボランティアの市民）が中心となって企画・実施を行い、市民が市民に対して普及・啓発を行いました。

こうした中で、第2期の5年間は、「誰もが集える交流空間から」「気づきから実践に向けて」「地域と共に歩む施設へ」という3つのコンセプトを掲げ、以下のビジョンの達成をめざすこととしました。

「環境」は、家庭や地域、社会での生活そのものであり、生きていく中で必要不可欠なことがある。そのことに気づき、自ら行動できる人を育てることや支えることで、地域で活動が実践されたり、「環境」への理解が広がる。

2013年度からの第1期は、多くの市民の利用者に対して「種をまく」期間であったのに対し、第2期は、まいた種を「いかに育てて・つないでいくか」という期間と位置づけました。種を育てていくにあたり、“環境＝家庭や社会での生活そのものであることを気づいてほしい”“気づいたことを周りに伝えてほしい”“学んだことが地域に広がってほしい”という考えのもと、各事業に取り組みました。

2021年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2020年度に続き、施設の臨時休館や行事の中止、貸室の条件付き利用などがありました。ただし、臨時休館等を除く大半の期間では、計画していたイベント等の開催を行うとともに、親子ぐるぐるフェス、リユースバザーなどを再開することができました。また、新たにSNS（Twitter、Facebook）の運営開始を開始し、イベントの告知などを投稿しました。

2021年度の来場者数は11,900人、稼働率は70.0%（実績値）、自然観察会やびったんこ隊miniなどのセンター外での取組みに対し、475人の参加がありました。2020年度のそれぞれの実績（9,822人、65.0%（実績値）、399人）からはいずれも向上し、少しずつですが新型コロナウイルス感染症の影響から改善しつつあると言えます。

2. 施設の維持管理・運営体制

(1) 施設概要

- ・施設名 豊中市立環境交流センター
- ・所在地 豊中市中桜塚 1 丁目 24 番 20 号
- ・施設規模 床面積 658.97 m²
- ・開館時間 9 時～17 時
- ・休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
12 月 29 日～1 月 3 日
- ・貸室区分 9 時～12 時、13 時～17 時
- ・受付開始 目的利用：使用日 3 ヶ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
目的外利用：使用日 1 ヶ月前の月の初日から先着順（初日が休館日の場合は翌日から）
- ・貸室 会議室 1、会議室 2、展示スペース（会議室 1 は ABC の 3 つに分けることができる）

(2) 開館日数、および臨時休館

①開館日数

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
日数	21 日	0 日	8 日	27 日	26 日	26 日	
月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
日数	27 日	25 日	24 日	24 日	24 日	27 日	259 日

※臨時休館中に貸室の条件付き利用を行った日は日数に含んでいない

②臨時休館

期間	内容
4 月 25 日（日）～6 月 20 日（日）全日	新型コロナウイルス感染拡大予防に伴うもの

(3) 運営体制

①職員

総括責任者 1 人、職務代理者 2 人（以上 3 人が常勤）、非常勤職員 3 人（うち 1 人は 7 月下旬まで育児休暇を取得し、7 月末で自己都合退職）でセンターの運営にあたりました。

②担当理事

センターの運営と当団体の活動がうまくリンクするため、および、運営に関する当団体の意思決定を円滑に進めるため、当団体理事の中から担当理事 5 人（理事職の総括責任者含む）を選出し、担当理事会を開催しています。ただし、2021 年度は他の会議等で兼ねて実施したため、単独での実施はありませんでした。

③研修の実施

職員の能力向上、および施設運営に必要な知識を得るため、研修計画に基づき、研修の参加・実施を行いました。また、職員が自主的に受講する研修や、職員が講師となるための知識や技能を伝達するための研修も実施しました。

日時	内容	会場	研修の種類	参加者数
6 月 28 日（月） 15:30～16:00	消防訓練	環境交流センター	基礎的な研修	5 人

7月29日(木) 9:50～16:50 7月30日(金) 9:50～15:55	防火管理講習	ホテルアイボリー	資格取得に関する研修	1人
8月6日(金) 15:00～16:30	令和3年度人権問題事業者学習会	人権平和センター 豊中	人権に関する研修	1人
10月14日(木) 9:00～12:30	公共施設予約システム トライアル環境説明会	NTT 豊中ビル	基礎的な研修	1人
10月19日(火) 14:00～16:00	市民活動団体のための地域 SNS アプリ「ピアッザ」活用講座	環境交流センター (オンライン)	自主的に受講する研修	1人
2月24日(木) 9:30～17:00	パストラーレ操作研修	環境交流センター (オンライン)	基礎的な研修	2人
3月29日(火) 17:30～18:00	消防訓練	環境交流センター	基礎的な研修	5人
合計	7回			16人

※センター運営にあたった当団体職員のうちの参加人数

(参考) 研修の種類別の実施回数・人数

種類	回数	延べ人数
(1) 人権に関する研修	1回	1人
(2) 基礎的な研修	4回	13人
(3) 専門的な研修	0回	0人
(4) 自主的に受講する研修	1回	1人
(5) 資格取得に関する研修	1回	1人
合計	7回	16人

④職員との意見交換

職員の働き方や職場環境の改善に向けて、当団体の理事長・副理事長を含む役員グループが職員参加による意見交換(1回)を実施しました。また、理事長による各職員との面談を行いました。

職員との面談：3月3日(木)～4日(金)

職員参加の意見交換：7月19日(月)

(4) 運営会議

業務の状況報告やモニタリング、管理運営の検討などを行うため、当団体職員と環境政策課で運営会議を環境交流センターにて毎月実施しました。

月日	4月21日(水)	5月26日(水)	6月15日(火)	7月20日(火)
当団体	2人	2人	2人	2人
環境政策課	3人	2人	2人	2人
月日	8月26日(木)	9月28日(火)	10月20日(木)	11月19日(金)
当団体	4人	2人	2人	2人
環境政策課	3人	2人	2人	2人

月日	12月23日（木）	2月4日（金）	2月22日（火）	3月17日（木）
当団体	2人	2人	2人	2人
環境政策課	2人	2人	2人	2人

※4～6月はオンラインで実施

※8月26日の当団体の人数はインターンシップの大学生を含む

※1月の予定日は当団体の職員に服喪休暇があったため、2月4日に延期して実施

（５）来場者アンケート

施設利用者に対するサービス改善、および指定管理者のモニタリング事項として、来場者アンケートを実施しました。結果については、別途提出した報告書の通りです。なお、毎年100枚以上の回収を目標としていますが、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大予防により、フリースペースやキッズコーナーの利用を中止していた影響などから、目標枚数に至りませんでした。

- ・期間：2月10日（木）～3月3日（木）
- ・対象：センターに来場した高校生以上の方
- ・回収数：90枚（目標数100枚）
- ・実施方法：受付への設置、および来場者への配布
- ・その他：回答者の中から抽選で10人に図書カード（500円）を進呈

2021年度は中学生以下を対象とした簡易なこどもアンケートは実施せず

（６）設備点検・維持、および修繕

①設備の点検・維持（定期）

- ・床のワックスがけ（年3回）
- ・空調設備の点検（年4回）…業者による点検2回、職員による簡易点検2回
- ・自動扉の点検（年4回）
- ・消防設備の点検（年2回）
- ・屋根上の点検（年2回）…空調設備の簡易点検とあわせて実施

②設備や備品の修繕・追加

月日	内容
5月21日（金）	雨水タンクの修繕
10月15日（金）	会議室1A設置のスクリーン修繕
12月17日（金）	10年を経過する消火器（4本）の交換
3月3日（木）	空調機器のエラー表示に対する修繕

③施設の維持

月日	内容
6月2日（水）	裏庭の草抜き
8月27日（金）	裏庭の枝の剪定
9月4日（土）	施設前のタイル清掃

④その他

月日	内容	備考
5月11日（火）	消防署による査察。	特に問題はなかった。また、指定管理者に関する確認（代表者の名前や防火管理者の連絡先など）があった。
5月20日（木）	倉庫の西側の雨漏りを確認。環境政策課が施設の点検時に倉庫内の雨漏りと北側の雨水タンクのオーバーフローを発見した。	雨水タンクのオーバーフローした雨水が外壁に当たらないようにブルーシートで応急処置。翌日に工務店が雨水タンクのオーバーフローした部分のネットのみ取り外した。
7月2日（金）	閉館後に、ホールの壁面に設置の時計が勝手に落下して破損した（けが人はいなかった）。	翌日に環境政策課へ報告。
2月10日（木）	空調機器の運転中に事務室のリモコンにエラー表示を確認したため、施設内のすべてのリモコンを運転・確認したところ、氷蓄熱系統のすべてにエラー表示があることを確認。	2月15日（火）に空調機器の定期点検の業者が確認を行い、室外機の基板等の不良が原因と判明。空調機器の使用はできるが、氷蓄熱のタイマーなどが適切に動作しておらず、本来であれば深夜電力を利用することで電気代を抑制しているところできていない可能性がある。
3月29日（火）	屋根上の点検にて太陽光パネルの破損を発見。	当日中に環境政策課へ報告

（7）安全管理対策の状況

①安全管理マニュアル

当団体の職員、および会員が生命身体に危険を及ぼす可能性のある作業を行う際の留意事項をまとめた「安全管理マニュアル」を作成・提出しました。同マニュアルは、当団体の職員全員、および該当する会員に配布するとともに、事務室や倉庫などの目立つ場所に掲示しました。

なお、2021年度中に該当する対応はありませんでした。

②緊急時のマニュアル

急病・けが、交通事故、地震、不審者・不審物、火災、警報といった緊急時の対応をまとめたマニュアルを整備しています。

なお、2021年度は交通事故1件の発生があり、以下の対応を行いました。

月日	内容	対応
7月18日（日）	親子ぐるぐるフェスの参加者が来場の際、施設前の道路の溝に左前のタイヤを脱輪	来場者2人と職員2人で車体を持ち上げて救出に協力した。また、事故の発生時に環境政策課の担当職員へ報告の連絡を入れるとともに、同日中に緊急時連絡メモを作成し、環境政策課へ提出した。

③賠償責任保険、行事保険

センターの来場者への責任を果たすため、賠償責任保険に加入しました。また、屋外で実施するイベントのうち、参加者が負傷する可能性があると思われる行事に対し、行事保険に加入しました。

なお、2021 年度中はいずれの保険も執行はありませんでした。

④新型コロナウイルス感染拡大予防に関する対応

【施設運営における主な対策】

- ・大阪コロナ追跡システムの QR コードの設置（施設の常設用）
- ・施設利用者向けの掲示
- ・アルコール消毒液の設置
- ・受付周辺の対策
 - 飛沫防止対策のビニール設置
 - お金の受け渡しはプラスチック製のトレイを利用
- ・熱交換換気扇による換気の実施
- ・消毒の実施

【行事における主な対策】

- ・定員の見直し
- ・会場内での距離の確保
- ・検温の実施やアルコール消毒液の設置
- ・参加者名簿の作成（参加者受付のある行事）
- ・大阪コロナ追跡システムの QR コードの設置（参加者受付のない行事）
- ・出入口の一方通行（地域こだわりマルシェ＆野菜市場）
- ・透明な衝立の設置（対面する場合）
- ・チェックリストの作成・掲示・保管（2 月分から）

【施設利用者へのお願い】

- ・熱があるなど体調の優れない方はご欠席（ご帰宅）いただくこと
- ・マスクの着用など、咳エチケットを徹底すること
- ・手指のアルコール消毒か、手洗いをする
- ・大声での会話、握手などの相互接触をしないこと
- ・参加者全員の名前や連絡先を責任者が取りまとめ、施設管理者へ提示すること（貸室利用者）

【チェックリストの作成・掲示・保管】

月	2 月	3 月
件数	7 件	14 件

【主な経過】

月日	内容
4 月 8 日（木）	まん延防止重点措置が適用されたため、5 月 5 日まで貸室の定員を半数にすると環境政策課から通知があった。
4 月 9 日（金）	環境政策課から 5 月 5 日までの指定管理の行事の中止するように通知があった。

4月14日（水）	4月18日（日）の自然ふしぎ発見クラブについて、先送りできない理由記載した企画書を環境政策課に提出した。環境政策課からは実施可の回答があった。
4月23日（金）	環境政策課から、デジタル戦略課からの要請として、臨時休館となった際に公共施設利用予約システムのインターネット仮予約の個別対応について連絡があったが、インターネット仮予約の手続きをした団体がないため、要請の対応が発生しない旨を回答した。
4月24日（土）	環境政策課から、4月25日（日）から5月11日（火）まで臨時休館する旨の通知があった。
5月8日（土）	環境政策課から、5月31日（月）まで臨時休館を延長する旨の通知があった。
5月31日（月）	環境政策課から、6月20日（日）まで臨時休館を延長する旨の通知があった。
6月1日（火）	6月20日（日）までに配慮すべき行事として、おもちゃ病院のおもちゃの返却と、ゴーヤのポット苗の配布について環境政策課に相談した。環境政策課からは実施可の回答があった。
6月18日（金）	環境政策課から、6月22日（火）から施設を再開する旨の通知があった。
7月30日（金）	緊急事態宣言の発令のため、8月のおしらせやメールマガジンの発行を7月末ではなく、8月初めに実施することを環境政策課と確認した。
7月31日（土）	環境政策課から、施設の利用や貸室の定員について変更がない旨の通知があった。
8月11日（水）	環境政策課から、貸室の定員について8月10日付で定員を半減する旨の通知があった。
8月18日（水）	環境政策課から、緊急事態宣言の延長に伴い、9月12日までの施設の利用条件に変更がないことの通知があった。
9月10日（金）	環境政策課から、緊急事態宣言の延長に伴い、9月30日までの施設の利用条件に変更がないことの通知があった。
9月29日（水）	環境政策課から、緊急事態宣言の解除に伴い、10月1日から施設の利用条件のうち、定員を100%に戻す（一部の利用を除く）ことの通知があった。
12月9日（木）	環境政策課から、チェックリストの実施について説明があった。当団体から不明点等を質問した結果、環境政策課で持ち帰って確認することとなった
1月26日（水）	まん延防止等重点措置の要請に伴い、貸室の利用条件等に変更がない旨を環境政策課と確認した。
1月27日（木）	環境政策課から、チェックリストの不明点について説明があり、あわせて2月分のイベントから実施することの通知があった。

※行事の申込者、貸室の利用者、一般の問合せ、広報や掲出関係の対応等は記載せず

（８）クレーム・課題点

センターの運営の中で、確認された課題点について、適切に対応・改善しています。なお、2021年度は特筆すべきクレームはありませんでした。

（９）包括外部監査への対応

豊中市が実施する包括外部監査に対して、以下の対応を行いました。

月日	内容
9月2日（木）	包括外部監査人補助者による8月30日付の依頼文を環境政策課から受け取り（ヒアリング及び資料閲覧内容について、依頼文にて確認）
9月16日（木）	包括外部監査人補助者によるヒアリング及び資料閲覧への対応

(10) その他

①警察からの要請に対する協力

月日	内容
12月1日(水)	豊中警察署から、11月25日(木)昼頃の防犯カメラの映像確認の依頼があった。

②施設周辺や集いの広場に関する対応等

月日	内容	対応
7月15日(木)	萩の寺公園内のトイレの緊急用ランプが点灯していると、通りがかった市民が来場した。	職員がトイレ内の確認を行ったところ、何も問題がなかったため、トイレ内のボタンを押してランプの点灯を消した。

3. 管理運営業務の実施状況

(1) 地球環境の保全等に関する活動のための交流の場の提供

センターは日常的に人が訪れて、交流し、にぎわいがある場となることをめざして、日常的な取組み、行事など特定の日の取組みを複合的に実施し、多様な場づくりを行いました。

①ファンクラブ制度の運用

2014年4月から、センターに愛着を感じて応援してもらうファンクラブ制度の運用を開始しました。センターの取組みに協力していただける市民の方を登録し、メンバー証の発行、メールマガジンの配信、メンバー限定特典の提供などを行いました。2020年度末の登録者数662人に、新規登録と退会をあわせた2021年度末の登録者数は771人（大人メンバー651人、ジュニアメンバー120人）でした。

ファンクラブ制度では、ファンクラブメンバーが地域での活動の担い手となっていくことをめざしています。そこで、2021年度はファンクラブメンバー企画として、メンバーがアイデア出しから当日の運営までに関わるイベントを実施しました。

【ファンクラブの登録者数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新規登録	14	—	6	19	20	20	13	6	11	8	13	5	135人
退会	1	0	0	0	0	16	4	0	0	1	0	4	26人

※5月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、新規登録なし

【メールマガジンの配信数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
配信数	281	281	281	—	291	290	289	291	293	298	303	307

※6月、8月は月に2回配信し、7月配信なし（月2回配信の月は2回目の配信数を記載）

【ファンクラブ対象の行事（おしゃべり交流カフェ）】

日時	内容	参加者数
9月29日（水）10:00～11:30	おしゃべり交流カフェ	13人
3月18日（金）13:30～15:30	おしゃべり交流カフェ	0人
合計	2回	13人

※参加者数は当団体の会員を含む

【ファンクラブ対象の行事（ファンクラブ企画）】

日時	内容	参加者数
10月27日（水）14:00～16:00	オリエンテーション	5人
11月9日（火）13:00～14:30	オリエンテーション	2人
11月30日（火）13:30～16:00	企画会議	6人
12月24日（金）9:30～11:30	企画会議	7人
1月13日（木）13:30～15:30	企画会議	7人
2月17日（木）13:30～15:30	企画会議	7人
3月2日（水）10:30～14:00	イベント準備	2人
3月12日（土）13:30～16:00	イベント「不要なものもアイデアで変身 市民がーから考えた楽しい工作まつり」	50人
合計	8回	86人

※参加者数は、ファンクラブメンバーの人数

ただし、3月12日はイベントの参加者とファンクラブメンバーをあわせた人数



<成果や工夫したこと>

- ・ファンクラブの新規登録について、2020年度は36件へと減少していたことから、来場者への呼びかけなどに注力し、2021年度は135件の登録を得ることができました。
- ・有志のファンクラブメンバーが中心となり、約半年間かけて、一般向けのイベントを企画から運営まで開催する「ファンクラブ企画」イベントを初めて試みるすることができました。職員は、企画が成功できるように、メンバーの話し合いから準備までに寄り添い、伴走しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・「ファンクラブ企画」を通して、有志のファンクラブメンバーからは今後も前向きな意見が多数出されたため、引き続き同様の企画を進めることで、ファンクラブメンバーの施設への関わりを深めていきます。
- ・3月のおしゃべり交流カフェは、案内が直前であったことや、案内の一部に不備があったことから、参加者が1人もいませんでした。今後は告知のタイミングや、内容の確認などの見直しが必要です。

②ポイントカードの配布

ファンクラブメンバーを対象にポイントカードを配布し、センターの利用や行事の参加などに応じてポイントを付与し、ポイントが貯まれば景品を進呈しています。また、ジュニア（子ども）向けのポイントカードは、2018年度から新たな仕組みで運用しています。ポイントカードについて、2021年度中の景品の交換数は36件でした。

また、2020年7月にファンクラブ制度の内規の更新により、中学校の卒業以降は大人メンバーとしたことから、2022年度から新たに大人メンバーへと切り替わるジュニアメンバー16人に対して、2021年度中に対象者へ大人メンバーのポイントカードを送付しました。



＜成果や工夫したこと＞

- ・2020 年度に続き、臨時休館の期間などもありましたが、景品の交換数は 2020 年度の 32 件から概ね横ばいであり、着実に実施しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・展示スペースの机やキッズコーナーを開放していないことによる小学生の来場の大幅な減少が続いています。今後は展示スペースの再開にあわせて、ポイントカードの活用を呼びかけていくことなどが考えられます。

③陶器とりかえコーナー

家庭で使わなくなった陶器を回収・展示し、希望する来場者が自由に持ち帰ることができるようにしています。赤ちゃんからの ESD が実施している「陶器とりかえ隊」の常設コーナーとして、当団体が日常的な管理や、とりかえの対応を行いました。2021 年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、引き続き週 2 日程度に限って持ち込み分を受け入れました。

また、2018 年度から豊中市伊丹市クリーンランドの事業として、陶器を回収してリサイクルする事業（実証実験）に協力し、やむなく廃棄していた、とりかえできない陶器をクリーンランドへ提供していました。この実証実験が 2020 年 11 月末で一旦は終了となりましたが、2021 年 4 月から再開となり、再び協力をする事としました。ただし、2021 年度中にクリーンランドへ提供する機会はありませんでした。



＜成果や工夫したこと＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2020 年度も引き続き回収した陶器をすべてアルコール消毒してから展示しました。また、展示場所では、陶器に触れる前に手指の消毒をするなどの協力を呼びかける掲示をしました。
- ・陶器の回収日については、センターのお知らせに掲載し、センターのホームページや SNS でも発信しました。
- ・陶器の持ち帰りは非常に多く、来場者アンケートなどでも陶器とりかえコーナーが良いという声が多く寄せられています。また、初めて持ち込む人も多くなっています。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・回収日を決めて受け入れしていることについて、PR を強化しているものの、知らないまま持ち込む人も引き続き多く、周知方法を検討していく必要があります。

④フリースペース・キッズコーナー・エコゲーム

展示スペースにテーブル・イスを設置して貸室利用がない時に予約なしに利用できるフリースペースと、子どもが靴を脱いで遊べるスペース（キッズコーナー）を設けています。2021 年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、イスのみを一部に設置し、使用方法などを限定して運用し、テーブルやキッズコーナーの設置、エコゲームの貸出しは行いませんでした。

なお、テーブルやキッズコーナーは、2022 年度からの再開に向けて、運用方法などの検討を行いました。



＜成果や工夫したこと＞

- ・フリースペースやキッズコーナーの再開に向けて、運用方法などの検討を行いました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・2022 年度からのキッズコーナーの再開に向けて、子育て支援センターなどへ運用方法のヒアリングを行うことが考えられます。

⑥リサイクル工作

家庭の不用品や身近な材料を利用し、暮らしを便利にするような手作り工作进行了。なお、年間で5回計画をしましたが、オンライン版の参加者がいなかったため、実質的に4回の実施となりました。

日時	内容	講師	参加者数
8月18日（水） 10:30～11:00 11:30～12:00 14:00～14:30 15:00～15:30	紙すきではがき作り	当団体職員	27人
9月15日（水） 10:00～11:30	新聞紙でエコバッグ作り	当団体職員	9人
2月18日（金） 10:00～12:00	余り布で巾着作りと玉ねぎ染め	当団体職員	7人
3月13日（日） 10:00～16:00	布団リメイクで座布団作り	吉田まち子さん	8人
3月24日（木） 10:00～12:00	新聞紙でエコバッグ作り（オンライン版）	当団体職員	0人
合計	5回		51人

※参加者数は外部の講師を含む



＜成果や工夫したこと＞

- ・新型コロナウイルス感染症への懸念から、2020年度は外部講師にすべて断られましたが、2021年度は新たな講師による座布団作りを行うことができました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、通常よりも定員を限って募集しました。はがき作り、玉ねぎ染め、座布団作りは、いずれもほぼ定員まで申し込みがありました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・リサイクル工作のオンライン実施として、対面で実施したものと同一内容、同様の広報活動を行いましたが、参加申込みが0人でした。リサイクル工作のオンラインのあり方について、検討する必要があります。

⑦リユースコーナー

豊中市伊丹市クリーンランドや豊中市家庭ごみ事業課と連携し、クリーンランドで回収したまだ使える家具や、豊中市臨時ごみリユース支援事業から提供を受けた家具などのリユース品を展示し、最終日に抽選会を行って、希望する市民へ提供しています。

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、豊中市臨時ごみリユース支援事業の分、豊中市伊丹市クリーンランドの分ともに中止となりました。豊中市臨時ごみリユース支援事業の分については、9月にあらためて実施し、抽選は非公開としました。

また、リユースコーナーに関連して、豊中市家庭ごみ事業課に（公財）とよなか国際交流協会を紹介し、同協会で行っている外国人支援も、豊中市臨時ごみリユース支援事業の提供先となりました。

期間	提供元	応募数	抽選会・抽選者	抽選方式
5月2日（日）～ 30日（日）	豊中市臨時ごみリユース支援事業	中止	中止	—
6月8日（火）～ 7月4日（土）	豊中市伊丹市クリーンランド	中止	中止	—
9月1日（水）～ 30日（木）	豊中市臨時ごみリユース支援事業	17点中15点 に合計72件	10月1日（金）10:00～ 非公開 家庭ごみ事業課職員が抽選	抽選会の参加に関わらない

※5月2日～30日、および6月8日～7月4日は、新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止

※9月1日からは17点を展示していたが、うち1点は提供元の都合により9月24日に返却（返却までに応募なし）



<成果や工夫したこと>

- ・リユースコーナーの展示品の写真をブログ等に掲載し、センターに来館しなくても、どのような物品が展示されているかわかるようにしました。
- ・リユースコーナーに関連して、豊中市家庭ごみ事業課に（公財）とよなか国際交流協会を紹介し、同協会で行っている外国人支援も、豊中市臨時ごみリユース支援事業の提供先となりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・年間で3回の企画がありましたが、1回は臨時休館のため中止となり、もう1回は提供元である豊中市伊丹市クリーンランドの意向により中止になりました。次年度は開催回数を増やすことで、リユースの機会を増やしていくことが考えられます。

⑧リユースバザー

参加する市民を募集し、家庭で使わなくなった衣服や生活用品を安く販売するリユースバザーを開催しています。地域こだわりマルシェ&野菜市場と一緒に実施することで集客を確保するとともに、定期的に古本市や省エネ相談会を同時開催することで複合的なにぎわいを作り出すようにしています。

また、子どもが主体となったバザーの機会として、えこっ子フリマ（子ども店長による子どもの物品を販売するバザー）を親子ぐるぐるフェスにおいて実施しています。

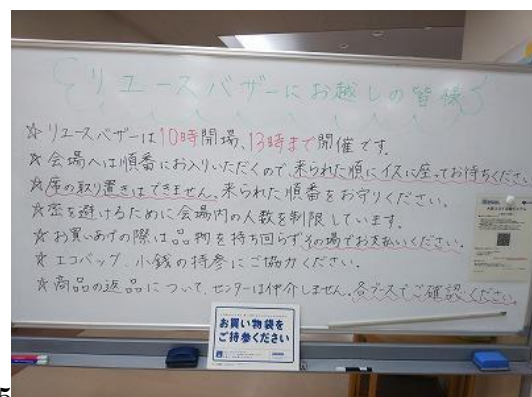
2021年度は、実施に向けて調整を進めていましたが、4・6月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止となり、9・12月は出店の条件や入場制限などを行いながら、実施をしました。

なお、えこっ子フリマは2021年度も中止としました。

【リユースバザー】

月日	出店数	参加者数	特記事項
4月25日（日）	—	—	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止
6月19日（土）	—	—	新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止
9月23日（祝）	6店	107人	
12月5日（日）	8店	110人	
	14店	217人	

※時間はいずれも 10:00～13:00 で実施



＜成果や工夫したこと＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防として、出店数を減らす、1店あたりの人数制限、会場内への一般参加者の入場制限などを行いながら、開催を再開することができました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・参加者は100人強で、2019年度以前と比べると半減しました。来場者数が少ない方が入場制限の順番待ちの時間が短くなるといったメリットはあるものの、出店者のモチベーションが下がるなどの課題も出てきます。開催時の効率化を検討しつつ、広報活動も拡充していく必要があります。
- ・2021年度は親子ぐるぐるフェスを開催したものの、えこっ子フリマの開催は見送りました。子どもの物品を販売するバザーのニーズはあるため、今後のあり方について検討する必要があります。

⑨親子フェスティバル

未就学児から小学生くらいの子どもと、その保護者を対象に、3Rの行動を通してモノと向き合い、モノを大切にする習慣と、ごみの減量を意識したくらしを考えるための参加・体験型イベント「親子ぐるぐるフェス」として開催しています。モノへの思いをメッセージカードに添えて次に使う人へ販売する「えこっ子フリマ」、制服・学用品の販売や絵本の交換会を通して出展者と参加者の交流をはかるとともに、他団体と連携して絵本の読み語りやリサイクル工作なども一緒に開催しています。

2021年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事前申込みによる2部制とし、入場者数を制限しながら実施しました。

日時	内容	参加者数
6月22日（火）～7月16日（金）	絵本の回収	—
7月18日（日）13:00～15:30	親子ぐるぐるフェスの開催	113人

※参加者数は出店者を含む

※絵本の回収は、当初6月1日～7月9日で予定していたが、6月1日～20日は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館となったため、6月22日～7月16日で実施



＜成果や工夫したこと＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、事前申込みによる2部制とし、入場者数を制限しながら実施しました。
- ・第1部の希望者は予定の人数を超えたため、落選した方には第2部で参加できるように呼びかけるなど、希望者ができるだけ参加できるように対応を行いました。
- ・2019年度以前よりも参加者数は半分以下になりましたが、リサイクル工作の物品が足りなくなるなどの盛況でした。出展団体からも、久しぶりに多くの方に参加してもらえたという満足感を得られる開催となりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のために実施した、事前申込みによる2部制というのが煩雑であったため、今後は対策の方法（開催方法）などを見直すことが考えられます。
- ・絵本の回収では、事前に示した汚れがないなどの条件に合わない持ち込みが多くありました。今後は持ち込みの条件などをさらにPRしていく必要があります。

⑪地域こだわりマルシェ&野菜市場

地産地消および循環型社会の推進のため、とよっぴーで育てた豊中産の野菜などを有料配布しました。また、「豊中市小売商業団体連合会」と連携し、環境や健康に配慮し、こだわりを持って地域で商いをしているお店の商品も販売しました。

月日	4月3日	5月1日	6月5日	7月3日	8月7日	9月4日	
参加者数	63人	中止	中止	63人	42人	50人	
月日	10月2日	11月6日	12月4日	1月8日	2月5日	3月5日	合計
参加者数	61人	67人	81人	54人	42人	67人	590人

※いずれも土曜の10:00～11:00で実施

※参加者数は販売のスタッフを含む

※5・6月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止

※1月は豊中高校による動画の上映を同時開催



<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、センターの出入り口付近を入口・出口に分けた他、開始前に来場した参加者の距離を確保した待機場所の設置、販売者と購入者の間へ透明スクリーンの設置などを引き続き実施しました。
- ・豊中高校の動画の上映をあわせて実施し、高校生が購入者に動画の内容を紹介することや、アンケートを実施する機会として活用しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・参加者が販売開始まで待機場所で座って待っているのは負担が大きいため、結果的に参加者の減少につながっていると考えられます。今後は、2019年度までに実施していた整理券方式の再開について、検討していくことが考えられます。

⑫自然工作

豊中産の自然素材（竹や小枝など）を使って、自然工作を実施しました。また、工作の過程や、できた工作物（おもちゃ）で遊ぶことを通じて、長らく自然環境の保全に取り組むシニアと、次世代の子どもたちの交流をはかりました。

日時	内容	講師	参加者数
8月12日（木） 10:00～11:30	豊中市産の竹で作るくるくる不思議なかざぐるま	当団体の自然部会・竹炭プロジェクトのメンバー	26人
12月11日（土） 14:00～15:30	豊中市産の竹や木で作るトナカイとサンタクロース		20人
合計	2回		46人

※参加者数は当団体の会員を含む



<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、定員を少なくする、親子ごとに着席し、対面はパーティションで区切るなどの対策を引き続き実施しました。
- ・単に工作をするだけでなく、材料となる竹を切る体験をボランティアのシニアと一緒に行うことで、子どもたちとの交流をはかりました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・参加者にとって魅力のあるテーマで実施できるよう、今後も講師と一緒に検討していきます。

⑬おもちゃ病院

とよなか・おもちゃ病院と連携し、モノを長く使ってもらうため、壊れたおもちゃを修理する場を作りました。その場で修理できなかったおもちゃは、入院として一時預かりを行い、とよなか・おもちゃ病院が修理後、持ち込んだ方へお返ししました。

月日	4月10日	5月8日	6月12日	7月10日	8月14日	9月11日	
参加者数	30人	中止	25人	63人	33人	57人	
月日	10月9日	11月13日	12月11日	1月15日	2月12日	3月12日	合計
参加者数	35人	59人	24人	49人	42人	48人	465人

※いずれもすべて土曜の10:00～11:30で実施

※参加者数は講師を含む

※新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、5月は中止し、6月は4月以前に預かっていたおもちゃの返却のみを実施

※8月は家庭の省エネチェック（省エネ相談会）を同時開催



＜成果や工夫したこと＞

- ・2020 年度から開催を毎月としたことを受けて、2021 年度には開催が定着しつつあります。
- ・臨時休館となった6月の開催では、おもちゃの預かりが4月から長期間となっているため、豊中市の許可を得て返却のみを行いました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・参加者が多いため、受付付近に参加者同士が密接するケースがありました。用紙の記入台とドクターによる受付場所をわけるなど、参加者を分散する工夫を検討することが必要です。

⑭おはなし会「わにわに」

未就学児と保護者を対象にした絵本の読み語りを開催しました。環境につながる絵本を取り入れることや、簡単な手づくり工作をセットで行うことで、若い親子世代が環境やリサイクルに親しんでもらう機会としています。

2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、絵本の読み語りのみとし、手作り工作は中止していましたが、2021 年度からは手作り工作も再開しました。また、7月18日は親子ぐるぐるフェスの企画の1つとして実施しました。

月日	5月23日	7月18日	9月12日	12月19日	3月6日	合計
参加者数	中止	27人	15人	13人	5人	60人

※いずれも日曜、単独開催は10:30～11:30で実施

※当団体の企画屋本舗プロジェクトが実施（参加者数は企画屋本舗の担当者を含む）

※5月23日は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止

※7月18日は親子ぐるぐるフェスにて実施



＜成果や工夫したこと＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、家族ごとに離れて座ってもらうことを継続するとともに、家族単位での手作り工作を再開することができました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・参加者は当日受付のため、開催してみると参加者が非常に少ない回もありました。これまでよりも広く PR をするとともに、参加者に次回の日程を案内するなどの工夫をしていくことが考えられます。

⑮環境映画祭

「あしたの暮らしとよなか」と連携し、2014～2016 年度に「種まきシアター」と題して、持続可能な地域をテーマにしたミニシアター系の映像上映と参加者同士の意見交換の場づくりを行ってきました。2017 年度からは「あしたの暮らしとよなか」が自立し、センターで独自に実施しています。2019 年度からは、あしたの暮らしとよなかとの共催により「ちょっとロハスな映画祭」と題した映画祭を開催しています。複数の映画を上映し、ロハスな企画をあわせて実施することで、関心の裾野を広げ、新たな層の参加者の獲得につなげる機会としています。

2021 年度は初めて 2 日間の開催とし、食にまつわるドキュメンタリー映画の上映を行うとともに、トークセッションやワークショップなども行いました。

日時	内容	参加者数
10 月 30 日（土） 11:00～16:00	第 3 回ちょっとロハスな映画祭 上映作品（両日とも 1 回ずつ上映） 「弁当の日」	30 人
10 月 31 日（日） 10:00～17:00	「いただきます～みそをつくるこどもたち」 「その後ののはなちゃんのみそ汁 GIFT」（無料上映） トークセッション（日のみ）、ワークショップなど	53 人
合計		83 人

※参加者数は関係者などを含む

※一時保育は 30 日が子ども 2 人、31 日が子ども 4 人で、いずれも参加者数に含む



＜成果や工夫したこと＞

- ・2021 年 5 月にあしたの暮らしとよながが別会場で予定していた上映会が中止となったため、予定していた作品（弁当の日）を映画祭で上映しました。
- ・トークセッションやワークショップも同時開催することで、これまでにセンターへ来たことがなかった人が来館する機会となりました。
- ・当日の参加者に専門学校の先生がおり、「おから味噌」のワークショップをした講師と知り合いになり、後日にワークショップの講師が学生向けに「おから味噌」の講義をすることにつながりました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・小さい子どものいる親向けの内容が多かったことから、一時保育の希望が多く、当日は映画祭専用のキッズコーナーを設けました。しかし、事情を知らない一般の来館者が勝手に子どもにおやつをあげようとするなどのトラブルがあり、一時保育の対応のあり方について課題が残りました。

○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していなかったものの、リユースコーナーとあわせて、豊中市伊丹市クリーンランドと連携した取組みを予定しました。しかし、最終的には新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止としました。

日時	内容	参加者数
7月4日（日）	クリーンランド市民講座（新聞紙でコラージュしよう）	中止
7月4日（日）	クリーンランド出前講座	中止

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止

(2) 地球環境の保全等に関する情報の収集及び提供

環境問題そのものの情報から、環境活動や環境イベントに関する情報の収集・提供・発信、環境情報に関する問合せ対応、図書の閲覧・貸出、センターに関する情報の提供・発信など、さまざまな形で取り組みました。

① ホームページ・SNS の運営

オリジナルのドメインによる、センターのホームページを管理し、施設情報・イベント・環境情報などを発信しました。さらに、ホームページの運営の一環として、スタッフブログを更新しました。

また、2021年7月1日から、新たに SNS (Twitter、Facebook) の運営開始を開始し、イベントの告知などを投稿しました。

	投稿数	アクセス数	フォロワー数
ホームページ	—	20,767 (ページビュー)	—
ブログ	23 件	—	—
Twitter	85 件	65,284 (インプレッション)	97 人
Facebook	62 件	2,958 (リーチ)	79 人

※フォロワー数は 2022 年 3 月 31 日現在

※ページビュー：WEB ページ内のページを見た合計数 (1 人が複数回見たら重複カウント)

インプレッション：各投稿を閲覧した回数の合計 (1 つの投稿を 1 人が複数回見たら重複カウント)

リーチ：各投稿を閲覧した回数の合計 (1 つの投稿を 1 人が複数回見ても 1 カウントのみ)

ホームページアドレス <https://kankyokoryu.jp/>

ブログアドレス <http://staffblog.kankyokoryu.jp/>

Twitter アドレス <https://twitter.com/kankyokoryu>

Facebook アドレス <https://www.facebook.com/kankyokoryu>



＜成果や工夫したこと＞

- ・2021年度のページビュー数は20,767で、2020年度の15,445ページ、2019年度の20,579ページと比べると、2020年度からは大幅に増加したものの、2019年度と同程度でした（ブログページは除く）。さらに、2021年度の更新件数は23件で、2020年度の17件よりは増加しましたが、2019年度の29件よりは下回っています。
- ・2021年7月1日から、新たにSNS（Twitter、Facebook）の運営開始を開始し、イベントの告知などを投稿しました。
- ・Twitterのアクセス数（インプレッション）は、フォロワー数よりもかなり多くなっており、フォロワー以外にも広く閲覧されていることが見込まれます。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・SNSの投稿は頻度や内容を試行錯誤しながら進めてきましたが、より多くのフォロワー数や閲覧を得るためには、更新頻度をさらに向上していくことが考えられます。そのために必要な投稿の体制も含めて検討し、情報発信を強化していきます。

②環境交流センターのおしらせ

センターの行事や案内を、「環境交流センターのおしらせ」としてチラシにまとめて毎月発行し、センター内での掲示や来場者への配布を行うとともに、環境交流センターのホームページでも公開しました。2018年6月からはデザインをリニューアルし、各月の情報量に応じて、A4サイズ2ページ、または4ページの構成としています。2019年度からは、公共施設への一斉配架を取りやめ、毎月利用者が取りに来る一部の施設のみの配架としました。

また、お知らせに掲載している内容は、豊中市立図書館のメールマガジンへ情報提供し、配信・掲載を通して広く周知しました。



＜成果や工夫したこと＞

- ・毎月適切に作成・発行を行いました。
- ・陶器の持ち込み日を引き続き掲載し、来場者にはセンターのおしらせを渡して持ち込み日を案内しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・2022年度からは広報とよなかの紙面が限られるため、広報に載らない行事も含めて案内をしていきます。

③リーフレットの配布

来場者や行事参加者へセンターのリーフレットを配布しました。



<成果や工夫したこと>

- ・リーフレットの内容に変更部分が増えてきたため、該当部分にシールを貼って修正し、引き続き利用をしました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・年度末でネーミングライツ制度が終了となり、リーフレット全体に影響するため、2022 年度には新たなリーフレットの作成が必要です。

④多様な媒体や手法による情報の発信

環境交流センターのおしらせの内容について、ファンクラブメンバーを対象にメールマガジンを発行しました。また、豊中市立図書館のメールマガジンへ情報提供し、配信を通して広く周知しています。豊中市立図書館のメールマガジンについては、原則として月末に翌月の情報を提供し、図書館にて月初めに当月分の配信をしていただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、一部の月においては、月初めに当月の情報を提供して配信していただくなど、柔軟な対応を行いました。

さらに、イベント告知ページへ一部のイベント情報の掲載を行いました。新型コロナウイルス感染拡大予防による行事の中止など、掲載できない月は実施しませんでした。

<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、豊中市立図書館のメールマガジンは、一部の月で情報の提供や配信のタイミングを調整するなど、柔軟な対応を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・メールマガジンについて、これまでは発行することがゴールになっていたため、今後はメールマガジンの効果を把握していくことが必要です。

⑤環境ギャラリー

環境交流センターの展示スペースを活用し、環境にまつわる展示を行いました。

2021 年度は、指定管理事業に関するものや、豊中の自然をテーマとしたものなどを紹介しました。

期間	内容	団体
4 月 6 日（火）～ 24 日（土）	豊中の自然展「豊中のキツネ・タヌキとツバメのねぐら ナウ！」	当団体の自然部会
7 月 7 日（水）～ 8 月 4 日（水）	SDGs に触れる図書展	—

10月3日（日）～ 29日（金）	事業者のSDGs活動の展示	当団体の事業部会
1月19日（水）～ 2月25日（金）	あの日を忘れない！～いのちと環境を守り、未来につなごう～	福島プロジェクト豊中

※豊中の自然展は4月6日～29日の予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、24日までで終了とした



<成果や工夫したこと>

- ・新たに事業者のSDGs活動に関する展示を行い、自主事業の講座と連携しました。
- ・震災の展示では、実施団体が現地で撮影した動画を編集し、展示とあわせて紹介したところ、来場者アンケートなどでも好評な意見が寄せられました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・豊中の自然展では、キツネやタヌキのはく製の展示をするなど、さらに来場者の関心を引く内容にしていくことなどが考えられます。

⑥身近な生き物調査

自然に関心のある市民を調査員として募集し、市民による豊中市内の自然調査を実施しています。2021年度は初めて天竺川をテーマに実施しました。

実施日	内容	場所	参加者数
7月4日（日）	調査説明会	環境交流センター	20人
7月23日（祝）	調査	西願寺橋付近	17人
8月27日（金）		下天竺橋付近	7人
10月10日（日）		西願寺橋付近	30人
10月19日（火）		中天竺橋～下天竺橋	7人
12月8日（水）		八坂橋～緑橋	7人
1月18日（火）		緑橋～砂畑橋	5人
3月10日（木）		砂畑橋付近	1人
2月24日（木）～ 3月30日（水）	まとめ作業、報告書作成（11回）	環境交流センター	37人
3月20日（日）	調査報告会	くらしかん	19人
合計	20回		150人

※調査説明会は5月8日（土）に予定し、延期後の日程を6月6日（日）に予定していたが、いずれも新型コロナウイルス感染拡大予防のため7月4日に延期

※1月11日（火）に予定していた調査は雨天のため1月18日に延期

※まとめ作業には、報告会以降の片付けや関係機関への冊子送付作業などを含む

※当団体の自然部会が実施

※調査員数 43 人



＜成果や工夫したこと＞

- ・初めて天竺川をテーマとし、河川構造物も含めた調査を実施することができました。
- ・行事のように調査日を決めて実施したため、一般の市民調査員の参加が例年よりも増加しました。
- ・これまでにまとまった調査が行われていなかった天竺川をテーマとし、植物、水生動物、河川概要などを調査しました。調査地点や季節などが限られているものの、植物などはおおよその傾向を把握することができました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、調査説明会の時期が遅くなったことから、調査の実施が7月からとなりました。
- ・今回の調査を通して、植物は帰化植物や栽培種が目立ったこと、水生動物は過去の記録から大幅に種が減少したことなど、今後も注意を払う必要があると考えられます。

⑦図書などの閲覧・貸出し

環境に関する図書や資料を設置し、図書・資料室にて閲覧スペースを設けるとともに、利用者が希望する図書などについて、内規に基づき貸出しを行いました。さらに、閲覧・貸出しを促進するため、環境ギャラリーの一環として、図書をテーマとした展示も実施しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出件数	4	—	1	3	4	8	3	3	2	0	2	4	34 件
貸出冊数	10	—	1	5	9	13	5	10	2	0	3	6	64 冊

※図書をテーマとした展示は、(2) ⑤環境ギャラリーに記載

※5 月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止



＜成果や工夫したこと＞

- ・貸出件数が2020年度の27件（44冊）から34件（64冊）へと増加しました。2020年度と同程度の臨時休館があったことを考慮すると、利用の改善があったと考えられます。
- ・2021年度も研修利用を目的にDVDの貸し出しがあったことから、2021年度も映像系の購入を行いました。

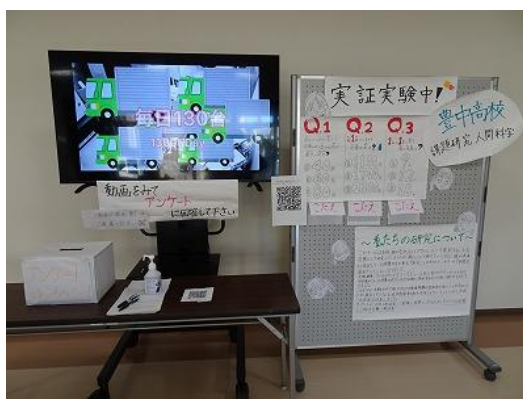
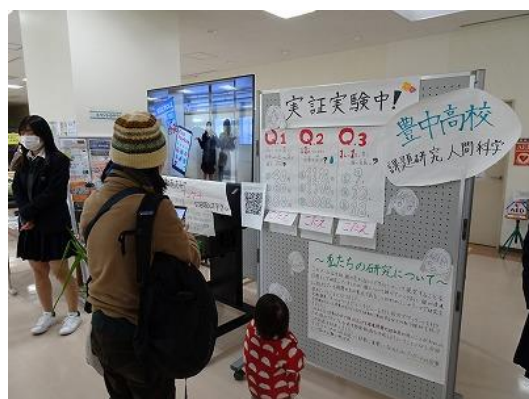
＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・2022年度からのキッズコーナーの再開にあわせて、図書の閲覧の可否も検討が必要です。
- ・展示スペースで貸し出しをしていたエコゲームについても、図書と同様に貸し出しを行うかどうかの検討が必要です。

⑧学生の実環境活動の支援

環境活動に関心ある学生が学びを深めるため、環境活動に関わる学生の活動支援などを行いました。

日時	内容
1月7日（金）～ 16日（日）	豊中高校 服の大量廃棄に関する動画上映の支援
2月20日（日） 13:00～16:30	大阪大学環境サークル GECS の総会出席（大阪大学豊中キャンパス）



＜成果や工夫したこと＞

- ・豊中高校から展示スペースの利用に関する問合せがあり、事前に打合せを行ったところ、動画の上映をしたいということで、センターのモニターの提供を協力しました。
- ・また、動画上映とあわせてアンケートを設置したいということから、地域こだわりマルシェ&野菜市場で参加者に高校生が直接アンケートを取ることを提案し、実施に向けて調整を行いました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・今後も学生側のニーズなどに応じて支援を行っていきます。

⑨地域との連携強化

センターがある南桜塚校区の地域自治組織（南桜塚校区地域連絡協議会）に2018年4月の総会から当団体として正式に加盟しています。協議会の一員としての役割を果たすことを通じて、地元地域との連携を強化し、地域でのセンターの理解向上へとつなげていくことをめざして参加したものです。なお、協議会の加盟団体は、防犯部会か防災部会のいずれかに参加することとなっており、当団体では引き続き防災部会に所属しました。

また、豊中市社会福祉協議会の地域福祉ネットワーク会議への参加を通じて、豊中市内の地域団体とのつながりを広げることができました。

【南桜塚校区地域連絡協議会】

項目	日時	内容	場所	備考
全体	4月25日（日）	総会	地域共生センター	中止
	6月27日（日）	運営委員会	南桜塚会館	6月中止
	7月25日（日） 19:00～20:00			
	10月24日（日） 19:00～20:00			1月中止
	12月5日（日） 19:00～20:00			
	1月23日（日）			
	3月27日（日） 19:00～20:00			
防災部会	5月15日（土）	防災部会	南桜塚会館	5月中止
	6月19日（土）			6月中止
	7月17日（土） 19:30～20:30			9月中止
	9月18日（土）			
	10月16日（土） 19:30～21:00			
	11月20日（土） 19:30～21:00			
	1月15日（土） 19:30～21:00			
	3月19日（土） 19:30～21:00			
	11月23日（祝）	防災訓練	南桜塚小学校	中止

※中止はいずれも新型コロナウイルス感染拡大予防によるもの

【地域福祉ネットワーク会議】

月日	エリア	場所
7月16日（金） 13:30～15:00	南部	オンライン
7月26日（月） 13:30～15:00	北中部	
7月27日（火） 13:30～15:00	中西部	
2月2日（水） 14:00～15:30	中東部	オンライン
2月8日（火） 14:00～15:30	中部	
2月25日（金） 14:00～15:30	中西部	

＜成果や工夫したこと＞

- ・南桜塚校区地域連絡協議会では、運営委員会や防災部会への参加を通して、協議会の一員としての役割を果たしました。
- ・南桜塚校区地域連絡協議会の会議を実施している南桜塚会館で不用な陶器の食器が大量にあるとの相談を受けたことから、陶器の引き取りを行い、センターの陶器と置き換えコーナーに設置しました。
- ・地域福祉ネットワーク会議は、いずれもオンラインでしたが、以前のように夏と冬に開催され、従来と同程度に参加しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・引き続き協議会や行事への参加を通して、地域との連携強化を進めていきます。

⑩近隣団体・環境団体との連携

センターに勤務する当団体職員が、定期的に近隣の行政や環境団体と交流をはかり、近隣や広域の環境情報を把握するとともに、必要に応じて情報の提供・発信を行っています。2021年度は隣接する池田市の環境施設への訪問や行事の参加などを通して、連携を行いました。

日時	内容
3月16日（水）11:00～12:00	池田エコミュージアムへ訪問・見学
3月19日（土）10:30～12:00	いけだ環境交流会（オンライン）への参加

<成果や工夫したこと>

- ・びったんこ隊 mini で使用する環境学習の教材を借りるため、池田エコミュージアムを訪問し、あわせて施設見学を行いました。その際、池田市の環境学習の報告会の案内を受けたため、池田市の取り組みを知るために参加しました。
- ・当団体への訪問に来られた環境団体に対して、センターの紹介を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・本事業における近隣団体・環境団体との連携のあり方についてどのような形が望ましいのか、引き続き検討していくことが必要です。

⑪施設内での情報提供

豊中市内外の環境イベントや環境に関する情報について、収集・提供・発信しました。

具体的には、センターに寄せられたポスターやチラシの掲示・配架を行うとともに、センターを利用して行われる行事チラシを掲示しました。

市民からの問合せや、来場者による環境情報の提供などを行いました。2021年度の相談件数は24件で、2020年度までと比べて大きく減少しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	5	1	3	1	1	2	0	3	4	2	1	1	24件

※各月の数字は利用件数

※センターの行事に関する問合せや当団体に対する問合せは含んでいない



<成果や工夫したこと>

- ・施設デザインの見直しに合わせて、自動扉を入った付近やガラス越しに外向きにポスター等の掲示場所を定めたことで、それまでは分散していたポスター等の掲示を整理しました。
- ・市民からの問合せについては、臨時休館中も電話で対応を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・市民からの問合せは2020年度の37件から24件へと大幅に減少しました。2019年度が34件であったことから、これまでの中では大幅に少なくなっています。センターでどのような問合せに対応できるのかを整理し、利用者に対してPRしていくことが考えられます。

⑫メディアへの情報の発信

これまでも施設の取り組みについて、FM 千里（コミュニティ FM のラジオ局）の生放送、ケーブルテレビ（J:COM）の取材、「TNN 豊中報道。2」への紹介など、メディアの取材や対応を行ってきました。2021 年度もメディアへの情報発信などを行いましたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、生放送などの対応はありませんでした。一方で、これまでの取り組みに関連しての取材がありました。

日時	内容
6 月 23 日（水） 15:00～16:00	京都新聞社による取材対応 （琵琶湖の保全活動に関する上流・下流の連携について）

＜成果や工夫したこと＞

- ・センターの行事について「TNN 豊中報道。2」などへ継続して情報提供を行い、一部のイベントについては他施設の行事などとあわせて紹介をされました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・京都新聞社の取材については、最終的にいつ・どのような記事になったのかがわかりませんでした。今後は情報提供に対して、どのような結果となったかを確認していくことが考えられます。

（３）地球環境の保全等に関する講座等の開催及び啓発の実施

地球環境の保全等につなげるため、関連する内容の講座や普及啓発を行いました。また、これまで豊中市が主体となっていた啓発事業を引き継いで実施するとともに、これまでも当団体が市と協働で進めてきた自然環境啓発や循環型社会推進についても取り組みました。

①環境基本計画の啓発展示

当団体はセンターの運営を通して、「豊中市環境基本計画」と「豊中アジェンダ 21」が共有する「望ましい環境像」の実現、および「豊中アジェンダ 21」の行動提案の達成をめざして事業を実施しており、環境基本計画の普及・啓発を目的とした展示を通して、市民の環境基本計画への理解を深めていくことをめざしました。

具体的には、環境基本計画の内容などについて、クイズ形式での展示を行い、解答用紙に記入・応募すると抽選で図書カードを進呈しました。あわせて、環境基本計画に関するアンケートを実施し、市民の実態把握にも努めました。

期間	内容
3月8日（火）～ 27日（日）	クイズでわかる環境基本計画 パネル展示とクイズの実施 環境基本計画に関するアンケートの実施 参加者アンケート 6枚回収 ※アンケート回答者の中から抽選で5人に図書カード（500円）を進呈



＜成果や工夫したこと＞

- ・とよなか市民環境展 2021 の企画展示で豊中の環境の現状や SDGs に関する展示を行ったことから、環境基本計画の内容と関連して、環境展で使用した展示内容も一緒に紹介しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・まん延防止重点措置の要請中ではあったものの、2年続けてアンケートの回収数が非常に少なくなりました。クイズの回答とアンケートの回答が二重になっているため、参加者が参加しやすい方法に改善していく必要があります。

②地球温暖化防止講演会

地球温暖化防止の普及啓発を目的に、地球温暖化防止の講演会を開催しました。2021年度は2019年度までと同様に、環境政策課と連携し、「とよなかエコ市民賞」の表彰式と同時開催しました。また、まん延防止重点措置の期間中であることから、当日の様子は YouTube でもライブ配信し、来館しなくても参加できる形としました。

日時	内容	参加者数
2月16日（水） 13:00～15:45	第1部 第15回とよなかエコ市民賞表彰式・活動発表 第2部 豊中市地球温暖化防止地域計画の見直しについて 説明：豊中市環境部環境政策課 講演「2050年ゼロカーボンシティの住宅とは」 講師：積水ハウス（株）温暖化防止推進室 木戸一成さん	72人

※参加者数は当団体の会員やスタッフ、講師、市職員などを含む

※時間や参加者数は第1部を含む

※参加者数の72人の内訳は、会場39人、オンライン（ライブ配信）33人

※（参考）オンライン 最大同時視聴者18人

YouTube ユニーク視聴者数36人

当日アクセス数64回



＜成果や工夫したこと＞

- ・開催がまん延防止重点措置の期間中であったため、貸室の貸し出し条件では定員100%でしたが、会場の定員を半数程度にして開催しました。
- ・前年度に続き、講演会の内容をYouTubeでライブ配信しました。これにより、会場とオンラインの参加者が概ね半分ずつという結果になりました。
- ・会場での参加者は第1部のみの参加者が多かったものの、オンラインの最大同時視聴者数（18人）は第1部、第2部ともに同じ人数を記録したことから、第2部も一定の参加を得ることができました。
- ・第2部では講演会にあわせて、地球温暖化防止地域計画の見直しに関する説明も行いました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・会場の定員を半数程度にしたことから、どれだけの広報活動を行うかがあいまいとなり、十分なPRができなかった可能性があります。今後は早くから十分な広報活動を行っていく必要があります。

③暮らしやモノを考える講座

家庭の暮らしにつながる講座として、2021年度は整理収納・布なぶきんの2つのテーマを実施しました。みどりのカーテンも予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止となりました。

整理収納は2014年度からの継続として、自分の暮らしにおける生活用品の適量を把握し、モノの手放し方を学ぶ機会とし、情報交換を通して主体的に学びあう場を提供しています。2019年度からは半年間の講座とするとともに、サークルの卒業生を対象とした情報交換の場（同窓会）を設けています。

布なぶきんは、受付で常設販売している布なぶきんの製作者を講師として、体に優しい手作り品を通してごみや体を考える機会として開催しました。

【整理収納サークル】

月日	内容	講師	参加者数	一時保育
5月20日	—	尾山敬子さん (整理収納アドバイザー)	中止	—
6月17日	—		中止	—
7月15日	単発開催		4人	0人
8月19日	整理収納サークル同窓会		7人	0人
9月16日	単発開催		3人	0人
10月21日	下半期（連続講座）		11人	1人
11月18日			12人	1人
12月16日			7人	0人
1月20日			4人	0人
2月17日			7人	1人
合計	8回		55人	3人

※いずれも木曜の10:00～12:00で実施（10月21日のみ9:30～新参加者へ事前説明）

※5・6月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止

※参加者数は講師を含む



＜成果や工夫したこと＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、2021年度も上半期は新規の参加者の募集ができませんでしたが、継続参加者を対象にできるだけ多くの回数を実施しました。
- ・展示スペースにキッズコーナーがなかったため、講座の度に一時保育用の会議室を確保し、そこにキッズマットやおもちゃを用意することで、これまで同様に一時保育利用の参加者を受け付けました。

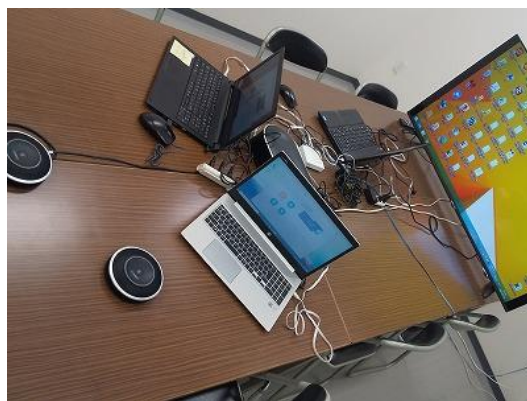
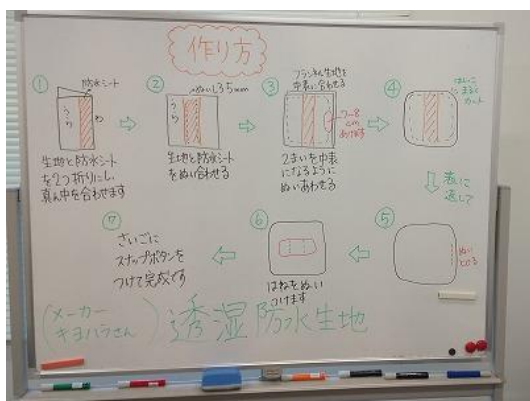
＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・2022年4月から広報とよなかのリニューアルに伴い、センターの記事の掲載件数が減ってしまいます。整理収納サークルは定員が少ないことから、掲載しない可能性が高いため、参加者を募集する他の広報手段を検討していくことが考えられます。

【布なぶきん】

日時	内容	講師	参加者数	一時保育
12月10日(金) 10:00～11:30	からだと環境にやさしい布なぶきん作り	USAGIGUMOさん (北摂手作りの会)	4人	0人

※講師はオンラインで参加



<成果や工夫したこと>

- ・2021年度もZoomを活用し、講師がオンラインで会場の参加者にレクチャーする方法を試行しました。2020年度に初めてオンラインを使用した際は、予定時間を大幅にオーバーしましたが、今回は予定時刻を大きく超えることなく実施することができました。
- ・単に手作りするだけでなく、講師や参加者で意見交換も行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・布なぶきんのニーズは一定あるものの、講座の参加につながっていないのが以前からの課題でした。そのため、以前は受付での布なぶきんの購入者に講座の案内をしていくなどの連携を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行以降は布なぶきんの購入者も相対的に減っています。今後の参加者増に向けた工夫を考えていく必要があります。

【みどりのカーテン】

月日	内容
5月19日（水）	ゴーヤで緑のカーテン作り （新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館で中止）
6月1日（火）～ 3日（木）	5月19日の参加申込者のうち、希望者に施設前でポット苗を配布

<成果や工夫したこと>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、2年連続で中止となってしまいました。そこで、環境政策課や花とみどりの相談所と調整のうえ、参加申込者のうち希望者に講座で配る予定であったポット苗を配布しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・ゴーヤの季節が限られることから、今後もより効果的な実施を検討していきます。

⑤リサイクル作品展

小学生が夏休み中の自由研究などで作成したリサイクル工作の作品を募集・展示し、豊中市と連携して優秀作品を表彰しました。

期間	内容
8月1日（日）～9日（祝）	作品の募集（47件）
8月12日（木）～20日（金）	作品の展示（入賞5件）



<成果や工夫したこと>

- ・例年同様に、センターの周辺と過去に多くの応募があった合計 7 小学校の全校児童にチラシを配布しました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、チラシには夏休みの宿題に限らない旨を初めて明記しました。
- ・2020 年度の 31 件から大幅に増加し、2017 年度以前の規模と同程度にまで回復しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・小学校へのチラシ配布をする際、同時期に連絡便への希望が重なっており、あやうく配布できないところでした。次回からは早めのチラシ作成や事前調整などをしていく必要があります。

⑥自然観察会

地域の自然環境に親しんでもらうため、豊中市内の自然が残された場所で自然観察会を開催しました。

月日	内容	場所	参加者数		スタッフ数
			おとな	子ども	
8月1日(日) 9:30～12:00	千里川の水生生物観察会	千里川	11人	14人	8人
9月18日(土) 18:00～20:00	秋の夜の鳴く虫観察会	服部緑地	10人	10人	7人
11月17日(水) 9:30～12:00	島熊山 秋の自然観察会	島熊山	15人	0人	7人
2月5日(土) 9:30～12:00	冬の野鳥観察会	服部緑地	20人	4人	10人
合計	4回		56人	28人	32人

※春の自然観察会を 5 月 12 日（水）に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止とし、11 月 17 日に秋の自然観察会として開催

※秋の夜の鳴く虫観察会は 9 月 17 日（金）に予定していたが、悪天候のため 9 月 18 日に延期

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）



＜成果や工夫したこと＞

- ・5月に島熊山で春の自然観察会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となったため、かわりに秋の自然観察会として初めて実施しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・2021年度の参加者数は84人で、2020年度の参加者数88人から横ばいでした。水生生物観察会などは定員を大きく超える参加希望があったものの、新型コロナウイルス感染症対策のため、より多くを受け入れられない状況での実施となりました。

⑦自然学習講座

豊中の自然環境の現状や保全についての理解を深めるため、専門家を講師に講座を開催しました。

月日	テーマ	講師	場所	参加者数	スタッフ数
5月15日（土） 14:00～16:00	新しくやってきた外来生物	松本吏樹郎さん（大阪市立自然史博物館主任学芸員）	オンライン	4人	1人
1月16日（日） 14:00～16:00	都市部に残された貴重な猪名川自然林と市民力	新貝亮之介さん（自然と文化の森協会）	中央公民館	20人	2人
3月26日（土） 14:00～16:00	ホントに在来種？緑化に用いられる植物の出身地	下野嘉子さん（京都大学農学部准教授）	中央公民館	22人	4人
合計	3回			46人	7人

※5月15日は会場での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、オンラインに変更して実施

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）



＜成果や工夫したこと＞

- ・2020年度に中止となった講座について、あらためて同じ内容で計画し、過去の参加者に対しても案内をしました。
- ・5月の講座について、緊急事態宣言が発令され、予定していた中央公民館も環境交流センターも臨時休館となったため、初めてオンラインで実施しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・自然関係の講座に関心のある方は、オンラインの参加が難しい方が多く、参加者が非常に少なくなっていました。オンラインの活用の有無についても、検討をしていきます。

⑧自然ふしぎ発見クラブ

豊中の自然にふれあい、体験できる機会として、5歳～小学生とその保護者を対象に行いました。

月日	テーマ・内容	場所	参加者数		スタッフ数
			子ども	おとな	
4月10日(土) 10:00～12:00	勝部遺跡収蔵庫見学と千里川の自然観察	勝部遺跡収蔵庫～千里川周辺	7人	9人	3人
4月18日(日) 9:30～12:00	竹のふしぎ発見と地下茎の観察	千里中央公園	16人	13人	9人
7月10日(土) 10:00～12:00	ふれあい緑地の田んぼビオトープで生き物調べ	ふれあい緑地	10人	7人	5人
7月31日(土) 18:30～20:30	公園でセミの羽化を見てみませんか	千里中央公園	22人	20人	5人
9月25日(土) 9:30～12:00	バッタなど秋の虫観察会	服部緑地	13人	15人	9人
3月13日(日) 10:00～12:00	春の萩の寺公園 野草観察と草木染め	環境交流センター	8人	7人	4人
合計	6回		76人	71人	35人

※ふれあい緑地の田んぼビオトープで生き物調べは6月19日(土)に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、7月10日に延期

※当団体の自然部会が実施(スタッフ数は自然部会の担当者の人数)



<成果や工夫したこと>

- ・竹のふしぎ発見と地下茎の観察は、まん延防止重点措置の要請が行われたため、参加世帯ごとの個別対応にするなどの特別な対応を豊中市と事前協議した上で開催しました。
- ・従来は定員を子どもの人数にしていたましたが、これでは保護者や同伴の乳幼児と一緒に参加し、新型コロナウイルス感染症対策が難しいことから、多くの参加が見込まれる開催分については、1組3人以内などの設定に変更して参加者を募集しました。

<これからの方向性(現状の課題を含む)>

- ・ふれあい緑地の田んぼビオトープで生き物調べは、新型コロナウイルス感染拡大予防により日程変更したため、広報とよなかへの掲載ができず、チラシや口コミなどで募集しました。2022年4月からの広報とよなかのリニューアルに伴い、今後の広報手段についても検討していく必要があります。

⑨自然環境の保全活動

豊中市内に残された豊かな自然環境を残していくため、残された自然を歩く「豊中の里地探訪」や、「豊中の自然を守る」活動の体験を実施し、自然環境の保全に対する理解を深めました。

【豊中の里地探訪】

月日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
6月23日（水） 9:30～12:00	豊中の里地探訪「小曾根村地域・天竺川堤防から高川堤防へ」	服部天神駅～天竺川～高川	10人	2人

※当初は4月28日に「小曾根村地域と天竺川堤防・花咲く桐の大樹」と題して実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防により中止となったため、6月23日に内容とコースを一部変更して実施した

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）

【豊中の自然を守る】

月日	内容	場所	参加者数	スタッフ数
11月10日（水） 9:00～12:00	猪名川自然林の保全作業と自然観察	猪名川自然林	7人	9人

※当団体の自然部会が実施（スタッフ数は自然部会の担当者の人数）



＜成果や工夫したこと＞

- ・里地探訪はウォークと観察を兼ねた企画として例年同様に多くの参加があり、豊中の自然と歴史について知ってもらう機会となりました。
- ・豊中の自然を守る活動は、新型コロナウイルス感染拡大予防を行いながら、豊中市のマイクロバスを利用して実施することができました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・里地探訪のように、ウォークと観察を兼ねた行事は人気が高いため、引き続き場所を変えながらより多くの方に豊中の自然を知っていただく機会として継続していきます。

⑩制服・学用品のリユース

豊中市内で市民活動に取り組む有志などで構成する「おさがりの会」と連携し、まだ使える制服や学用品をセンターで回収し、必要とする人へのマッチングを行いました。

日時	内容	スタッフ数
5月2日（日）～ 30日（日）	制服・学用品の回収	中止
6月22日（火）～ 7月16日（金）	制服・学用品の回収 制服、楽器、文具など約 160 点	—
7月18日（日） 13:00～15:30	制服・学用品の販売（親子ぐるぐるフェス） 制服・体操服、楽器、文具など約 200 点	3 人
随時	生活困窮者支援の関係者を通じて、制服などを提供	—

※5月2日～30日は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止

その後、6月1日～7月9日で予定していたが、6月1日～20日も同じく臨時休館となったため、6月22日～7月16日で実施



＜成果や工夫したこと＞

- ・2020 年度に親子ぐるぐるフェスの開催がなかったこともあり、制服・学用品の販売では比較的充実した販売コーナーを設けることができました。
- ・親子ぐるぐるフェスでは、南部地域の小学校で制服・学用品の譲り渡しを考えている方の見学もあり、ランドセルなど一部の学用品を無償で提供しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館の影響で、制服・学用品の回収はセンターのおしらせや口コミなどが中心となり、想定よりも回収する点数が少なくなりました。

⑪施設間連携スタンプラリー

豊中市内で指定管理等により運営している各分野の施設と連携し、施設間の相乗効果を目的に、2018年度から施設間でのスタンプラリーを実施しています。2020 年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設が連携してスタンプラリーを実施することは難しい一方で、とよなか国際交流センターの提案により、各施設で連携して映画の上映を行う「とよなかシネコン」の提案があったことから、これをスタンプラリーに替わる企画と位置付けて実施しています。2021 年度は夏休みに子ども向け（For kids）として実施しました。実施に際しては、センターでの映画上映分を「種まきシアター」として、あしたの暮らしとよなかと共催で行いました。

また、豊中市こども政策課が実施した「モバイルスタンプラリー」に市内スポットの 1 つとして参加し、期間中に来られた来館者等に対応しました。

【とよなかシネコン For kids】

日時	行事名	参加者数
8月21日（土） 14:00～16:00	種まきシアター「ドリーミング・ガーベッジ」	20人

※参加者数は共催団体のスタッフを含む



＜成果や工夫したこと＞

- ・2回目となった2021年度は他施設の意向もあり、For kids（子ども向け）として実施しました。センターでは、大人のみの参加も可とし、オンライン配信された環境がテーマの演劇を上映しました。
- ・2020年度は開催当日に会議室の定員が半数になっていたことから、2021年度は半数の定員を想定して募集しました。
- ・参加者アンケートから、他施設でも映画を見た方は少なかったものの、参加者の半数近くがセンターに初めての来場者でした。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・For kids（子ども向け）でありながら、結果的には大人の方がかなり多い参加となりました。こうした機会に子どもも楽しく参加してもらえるような工夫が必要かもしれません。

【モバイルスタンプラリー】

月日	内容
10月12日（火）～ 11月30日（火）	みんなが子育て応援団 モバイルスタンプラリーへの参加 （市内の各スポットの1つとして参加）

※10月8日（金）開始であったが、施設にQRコードが届いた12日（火）から設置

＜成果や工夫したこと＞

- ・環境政策課を通じて担当課から得た結果として、センターで取得されたスタンプの回数は29回で、参加した223施設中35位とのことでした。スタンプのために、初めてセンターへ来たと思われる方も多くおられて、参加した成果があったと考えられます。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・10月8日（金）開始でしたが、連絡便の行き違いなどによりQRコードが届いた12日（火）からの設置となりました。当初に予定されていた開始日が遅れたため、変更後の開始日を把握できていなかったことなども影響してしまいました。

⑫ESD セミナー

持続可能な地域づくりをめざして、市民に気軽に参加してもらえるようなセミナーを企画しています。2021 年度はとよなか ESD ネットワークとの連携・協力により、お金との付き合い方をテーマに開催しました。なお、実施に際しては希望する参加者や講師の一部がオンラインで参加しました。

日時	内容	参加者数	一時保育
3 月 11 日 (金) 10:00～12:00	幸せに生きるためのお金との付き合い方	13 人	0 人
3 月 18 日 (金) 10:00～12:00		9 人	1 人
合計	2 回	22 人	1 人

※参加者数は講師や関係者を含む

※参加者のうち、11 日は 3 人、12 日は 4 人がオンラインで参加



＜成果や工夫したこと＞

- ・会場とオンラインを併用したため、参加者が参加日ごとに会場とオンラインを使い分けて参加することができました。
- ・講師の所属団体のインターンシップ生や、大阪大学環境サークル GECS のメンバーなど、若い世代の参加も得て、一緒に講座を進めました。
- ・オンラインの参加者は参加費も口座振替できることとしたため、新型コロナウイルス感染症により来館できない方もオンラインで参加することができました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・若い世代を主なターゲットとして講座を開催しましたが、当初の見込みよりも参加者が伸び悩みました。若い世代に届くアプローチについて、引き続き検討が必要です。
- ・一時保育を希望していた参加者が、連絡もせず別で子どもを預けて来たため、保育者が不要になってしまいました。病気等以外の理由により、一時保育をドタキャンする場合は、保育料の徴収などを検討していくことが考えられます。

⑬キッズクラブ

「ぴったんこ隊 mini」と題して、小学 1～4 年生を対象に、世界や地域の環境を考えることをテーマとした、参加・体験型の連続講座を実施しました。講座は大阪大学の環境サークル GECS が主体となってプログラムを実施し、当団体で広報や参加者、プログラム先との調整などを担いました。また、講座の開催を通じて、大学生の環境活動の場を提供し、大学生の成長を支援する機会にもしました。

2021 年度は夏休み期間と春休み期間にそれぞれ 3 回の連続講座として開催しました。

日時	内容	場所	参加者数
8月19日（木）14:00～16:00	石けんと合成洗剤、環境にやさしいのはどっち？	環境交流センター	32人
8月20日（金）10:00～12:00	いま世界で起きている水問題ってなんだろう？	環境交流センター	32人
8月22日（日）10:00～12:00	夏はやっぱり川でしょ！	天竺川 西願寺橋付近	27人
3月29日（火）14:00～16:00	服はどこから来てどこへ行くのかな？	環境交流センター	24人
3月30日（水）14:00～16:00	食べ物がおうちに届くまで	環境交流センター	26人
3月31日（木）14:00～16:00	未来のおうちを考えよう！	環境交流センター	22人
合計	6回		163人

※参加者数はスタッフを含む

※天竺川での開催は8月17日（火）を予定していたが、雨天により延期とした。延期後の日程として予定していた8月20日も雨天が見込まれることから、順番を入れ替えて8月22日に開催した

※小学生の参加登録者数は8月が18人、3月が12人



<成果や工夫したこと>

- ・8月は悪天候の日が続いたため、天竺川に入る日程をなかなか見通すことができず、内容の順番を入れ替えるなど柔軟な見直しを行うなどして、予定のプログラムを実施することができました。
- ・屋外での実施については開催前に保護者へ手紙を渡すとともに、後日に当日の様子をブログで報告しました。
- ・3月の実施では、いけだエコミュージアムからフードマイレージゲームを借りて実施しました。
- ・参加者には「パスポート」と題した冊子を事前に送付し、当日には体温や体調を記入して持ってきてもらい、毎回受付で確認するという対応を行いました。
- ・プログラムの質の維持や学生の学びの場として、大学生が企画したプログラムに対して事前のリハーサルや毎回の実施後のふりかえりの場を設けて、助言や支援を行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、体調が悪い場合は無理せずに欠席するように事前に案内していたところ、実際に体調不良ですべての日程を休むことになった参加者もありました。今後は急な欠席も見越した参加者の確保なども考えられます。
- ・8月の実施に比べて、3月の実施では参加者が伸び悩むとともに、それぞれの回の参加者が比較的異なりました。小学校へのチラシ配布や広報とよなかの掲載とは別に、過去の参加者へ個別に案内を出すなどの工夫も考えられます。

⑭サイエンスカフェ

科学・化学実験や科学・化学にまつわる話題を通して、環境問題や生活とのつながりについて考える場を作りました。多様な世代が考える機会を作るため、子ども対象と大人対象の両方を実施しました。

日時	対象	内容	講師	参加者数
8月8日(日) 13:00~15:30	子ども	ぐるぐるめぐる水	黒河内繁美さん、清水沙弥加さん (Wakka)	11人
2月20日(日) 14:00~16:00	大人	女性の視点から災害対策を考える	森由香さん (とよなかESDネットワーク)	2人
合計		2回		13人

※8月8日の参加者数は講師や同伴の保護者を含む

※2月20日の参加者数は講師を含む



＜成果や工夫したこと＞

- ・子ども向けは、これまでは水に関する実験と、琵琶湖のシジミ採りをセットにした2日連続講座でしたが、2020年度にシジミ採りが直前に中止となったことを踏まえて、2021年度は水に関する実験だけを単独で実施しました。
- ・大人向けは、SDGsの視点から、環境とは違う切り口の企画を試みました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・子ども向けは、単独開催としたことにより、これまでよりも参加者が少なくなっていました。今後は、内容の打ち出し方や開催時期などを工夫していくことが考えられます。
- ・大人向けは、企画に反して参加者が非常に少なくなっていました。今後は、テーマに応じた関係先へ広報することなども考えられます。

⑮持続可能な消費に関する講座

誰しも身近な衣・食を通して持続可能な消費を身近に考え、自分の消費行動が環境や社会に影響を与えることを自覚するとともに、環境や社会に配慮した商品選択について知る（グリーンコンシューマーについて知る）ための講座を実施しています。2019年度はエシカルマーケットと同時開催の講座として実施しましたが、エシカル(ethical)にまだあまり馴染みがないという声も聞かれるため、2020年度からは持続可能な消費に関する講座をメインとし、エシカルマーケットの要素も入れながら実施しています。

2021年度はドーナツをテーマにして、食品ロスや資源循環を取り上げました。また、希望する参加者はオンラインで参加しました。

日時	内容	参加者数
12月15日（水） 10:00～12:00	ドーナツと食品ロス削減と資源循環	13人

※参加者数は講師を含む

※参加者のうち2人はオンラインで参加



<成果や工夫したこと>

- ・ダスキンの方を講師とし、ドーナツをテーマにして、食品ロスや資源循環を取り上げました。そのため、おみやげにドーナツ付として参加者を募集しました。
- ・会場とオンラインを併用して実施しました。その際、オンラインでの参加者には参加費をもらわないかわりに、おみやげも渡さないこととし、双方のやり取りを簡略化しました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・2020年度の講座では、講座後にエシカル商品の購入ができる機会も設けましたが、その一方で参加者が限られるため、販売側のメリットがないという課題がありました。今後も引き続き、講座と体験のバランスを考えながら進めていきます。

(4) 地球環境の保全等に関する会議、研修、催し等へのセンターの施設の提供

地球環境の保全等を推進するため、市民・団体・事業者に施設貸出を行うとともに、環境活動を支援する取り組みを行います。

①施設でのイベント掲示板の設置

センターを利用して市民や団体が実施する環境イベント等について、チラシ等を貼ることができる専用の掲示板を設置して、来場者へのPRを促進しました。また、施設デザインの見直しにあわせて、チラシを掲示する場所やレイアウトを変更し、来場者にわかりやすい形としました。



<成果や工夫したこと>

- ・施設デザインの見直しにあわせて、チラシを掲示する場所やレイアウトを変更し、来場者にわかりやすい形としました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・今後の利用状況を見ながら、利用しやすいものとなるように、引き続き検討していきます。

②コピー、大型プリンター、印刷機、紙折り機の利用

コピー、大型プリンター、印刷機の利用を有料で、紙折り機の利用を無料で提供しました。コピーは、打合せや貸室の利便性向上を主たる目的とし、大型プリンターや印刷機、紙折り機は、環境活動のサポートはもとより、地域の多様な取り組みに利用することができるため、施設への来場のきっかけとしても活用しました。2021年度の利用件数は2020年度と比べて、いずれも大きな変化はありませんでした（コピー58件→55件、大型プリンター16件→18件、印刷機29件→37件）。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
コピー	6	—	1	2	4	6	5	5	7	9	2	8	55件
大型プリンター	1	—	1	1	1	0	1	4	2	1	3	3	18件
印刷機	1	—	3	3	2	1	5	5	2	2	10	3	37件

※各月の数字は利用件数

※5月は新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため中止

※紙折り機は無料のため、利用件数をカウントしていない



＜成果や工夫したこと＞

- ・適切に運営しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・2021 年度の利用件数はおおむね横ばいであり、いずれも一定のニーズが認められるため、今後も引き続き実施していきます。

③打合せなどに伴う物品の貸出し

ロビーや会議室で打合せや作業を行う際、円滑に進めることができるように、関連する物品などを提供しました。傘は「貸し傘」として「そね21の会」と連携して取り組みました。

- ・裁断機
- ・ラミネーター（ラミネートフィルムは希望者に有料）
- ・貸傘
- ・リユースカップ（会議室の利用時など）



＜成果や工夫したこと＞

- ・適切に運営しました。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、皆無となっていたリユースカップの利用について、2021 年度はわずかながらに利用があり、一定のニーズは確認できました。今後もあり方を見ながら、検討・改善をしていきます。

④施設デザインの検討

2020 年度に実施された施設の指定管理者選定評価委員会の評価結果（中間評価）にて、施設を気軽に利用してもらうためのきっかけづくりや、施設の目的が理解されやすいような表示など、さらなる工夫が必要であると指摘されたことを受けて、当団体においても検討・改善を進めました。その際、施設の利用者を対象に、施設デザインについての意見やアイデアを出してもらうため、おしゃべり交流カフェでテーマにする予定でしたが、参加者がいなくて意見聴取に至りませんでした。



<成果や工夫したこと>

- ・施設デザインについて職員等で検討を行い、施設の掲示等を改善しました。
- ・ファンクラブメンバーなど、日頃から施設を利用する方に対して、個別にヒアリングを行いました。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・おしゃべり交流カフェを活用し、参加者から意見を聞く予定でしたが、参加者がいなくて意見を聞くことができませんでした。次年度以降も同様の機会を作っていきます。

(5) その他

①回収拠点

リユース・リサイクルのための回収拠点として、以下の物品を回収しました。なお、ベルマークは南桜塚小学校 PTA、子ども服は豊中市家庭ごみ事業課、傘はそね 21 の会と連携しています。

回収品	対象	対応
ペットボトル	主に他へ提供する物品	豊中市の委託先が週 2 回程度回収
インクカートリッジ		豊中市のインクカートリッジ里帰りプロジェクトとして実施 10 月 29 日（木）、2 月 11 日（祝）に各 1 箱を回収先へ送付
小型家電		豊中市が週 1 回程度回収
蛍光灯・電池類		豊中市が週 1 回程度回収
ベルマーク		回収したベルマークを地域へ提供 7 月 6 日、9 月 14 日、10 月 19 日、11 月 16 日、1 月 18 日、2 月 15 日（いずれも火）に南桜塚小 PTA へ提供
子ども服 （期間限定）	主にセンターで活用する物品	9 月 1 日（水）～30 日（木）に 70～160cm のこども服約 2,600 枚を回収し、家庭ごみ事業課へ提供
傘		貸し傘用として利用 2021 年度は団体への提供実績なし

※新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館中は中止



<成果や工夫したこと>

- ・ファンクラブメンバーであれば、回収物の持参でもポイントがもらえることから、ペットボトル等を持ち込む先をセンターにして、定期的に持ってくる方も増えつつあります。
- ・期間限定で実施している子ども服の回収は、これまでで最も多い枚数となりました。家庭ごみ事業課が実施していたこども園での回収がなかったことも増えた要因の 1 つかもしれません。

<これからの方向性（現状の課題を含む）>

- ・小型家電の回収ボックスのふたが割れていることを発見したため、環境政策課を通じて担当課へ連絡をしてもらいました。ふたを交換した担当課によると、故意ではなく劣化が原因とのことでした。

②不用品交換コミュニティボードの運営

2012 年度までリサイクル交流センターが実施していた不用品交換コミュニティボードを引き継ぎ、センター内での掲示とインターネットでの掲載を行いました。また、近隣市で同様の仕組みを運営している施設の情報を、ホームページに掲載して紹介しました。

【「譲りたい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4月分	11件	4件	0件	0件	1件	0件	0件
5月分	11件	1件	0件	5件	1件	0件	0件
6月分	5件	0件	0件	1件	0件	0件	0件
7月分	9件	5件	0件	3件	0件	2件	1件
8月分	6件	0件	2件	1件	0件	1件	1件
9月分	4件	1件	0件	0件	0件	0件	1件
10月分	4件	0件	2件	2件	0件	0件	0件
11月分	3件	3件	0件	0件	0件	0件	0件
12月分	8件	5件	2件	0件	0件	0件	0件
1月分	13件	7件	0件	0件	1件	0件	1件
2月分	17件	5件	2件	2件	3件	0件	0件
3月分	15件	5件	4件	3件	1件	0件	2件
年度通算	43件	36件	12件	17件	7件	3件	2件

※2020年度から繰り越した掲出7件、2022年度へ繰り越した掲出7件

【「譲ってほしい」に関する応募・結果】

	掲出件数	受付	成立	期限切れ	辞退	不成立	交渉中
4月分	3件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
5月分	3件	0件	0件	3件	0件	0件	0件
6月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
7月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
8月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
9月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
10月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
11月分	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
12月分	3件	3件	0件	0件	0件	0件	0件
1月分	4件	1件	0件	0件	0件	0件	0件
2月分	5件	1件	0件	0件	0件	0件	0件
3月分	7件	2件	1件	3件	0件	0件	1件
年度通算	10件	7件	1件	6件	0件	0件	1件

※2020年度から繰り越した掲出3件、2022年度へ繰り越した掲出3件



＜成果や工夫したこと＞

- ・2020年度の新規受付は、譲りたいが16件、譲ってほしいが6件で、2021年度は譲りたいの件数が大きく増加しています。過去の利用者が新たな物品で再び申込みをする、いわゆるリピーターが増えつつあります。
- ・コープ桜塚でも組合員を対象に同様の掲示板を設置していましたが、コープ桜塚は無人対応であったため、個人情報の取り扱いがネックとなり、2021年末頃で取組みが終了しました。これに関連して、コープ桜塚から代替場所として紹介してよいかとの問合せがあり、快諾をしたということもあってか、11月頃から新規の受付が増えてきています。

＜これからの方向性（現状の課題を含む）＞

- ・2020年度は広報とよなかへの掲載により応募が急増したことから、2021年度も2月に掲載を行いました。2021年度はその効果があつたか不明でした。2022年4月から広報とよながリニューアルするため、広報とよなかの活用について検討していきます。
- ・2021年度は新規受付が増えた一方で、ジモティーのような他の媒体や、友人等への呼びかけを併用する人も増えています。これにより、他で成立したことによる取り下げ（辞退）も増えています。

○当初の事業計画以外の取組み

年度当初の事業計画では予定していませんでしたが、事業者と連携してカレンダーの無料配布を行いました。

1月18日（火）～ 23日（日）	カレンダーの無料配布 ネットヨタニューリー北大阪提供 約70点を配布
2月5日（土）～ 11日（祝）	カレンダーの無料配布 豊中市小売商業団体連合会提供 約30点を配布



4. 施設の利用状況

センターの年間の来場者数は 11,900 人で、2020 年度の 9,822 人から増加しました。新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館の日数を考慮すると、12,000 人という目標値は達成しています。

会議室等の稼働率は、実績値であれば 2020 年度の 65.0%から 70.0%へと増加しました。内訳を見ると、会議室 1（65.0%→70.7%）・会議室 2（58.3%→63.7%）・展示スペース（71.7%→75.7%）となっており、いずれの稼働率も上昇しました。2020 年度に比べて会議室の利用が戻りつつあることに加えて、当団体によるオンライン利用なども継続していることから、高い水準で稼働していると言えます。

なお、緊急事態宣言の発令中やまん延防止重点措置の要請中に、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、予約・仮予約されていた利用が取りやめになった分も「利用があった」ものと仮定して算出すると 70.9%となります。

会議室等の申込状況と利用件数は、2020 年度からいずれも増加しました（申込件数 451 件→514 件、利用件数 388 件→434 件）。新型コロナウイルス感染症以前の 2018 年度の件数と比べると、申込件数（2018 年度は 524 件）と同程度になっていますが、利用件数（2018 年度は 486 件）はまだそこまでは及んでいません。

①来場者数

	一般	会議室等利用		合計	(参考) 昨年度
		環境目的	環境目的以外		
4 月	464 人	187 人	10 人	661 人	4 人
5 月	0 人	0 人	0 人	0 人	8 人
6 月	234 人	105 人	5 人	344 人	803 人
7 月	649 人	381 人	16 人	1,046 人	770 人
8 月	841 人	431 人	25 人	1,297 人	961 人
9 月	831 人	355 人	33 人	1,219 人	997 人
10 月	674 人	431 人	50 人	1,155 人	1,161 人
11 月	884 人	583 人	244 人	1,711 人	1,628 人
12 月	905 人	677 人	33 人	1,615 人	971 人
1 月	562 人	268 人	26 人	856 人	644 人
2 月	596 人	222 人	10 人	828 人	839 人
3 月	645 人	458 人	65 人	1,168 人	1,036 人
年度通算	7,285 人	4,098 人	517 人	11,900 人	9,822 人

※4 月 25 日～6 月 20 日は、新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館

②会議室等の稼働率

<実績値>

	会議室 1	会議室 2	展示 スペース	施設全体	(参考) 昨年度
4 月	52.4%	61.9%	95.2%	69.8%	—
5 月	—	—	—	—	—
6 月	87.5%	62.5%	0.0%	50.0%	66.7%
7 月	66.7%	51.9%	92.6%	70.4%	63.0%
8 月	65.4%	73.1%	76.9%	71.8%	51.3%
9 月	61.5%	53.8%	100.0%	71.8%	69.2%
10 月	77.8%	51.9%	100.0%	76.5%	84.0%
11 月	92.0%	76.0%	28.0%	65.3%	80.0%
12 月	83.3%	83.3%	25.0%	63.9%	47.2%
1 月	50.0%	50.0%	87.5%	62.5%	61.1%
2 月	62.5%	62.5%	95.8%	73.6%	50.0%
3 月	85.2%	74.1%	77.8%	79.0%	74.4%
年度通算	70.7%	63.7%	75.7%	70.0%	65.0%

※4月25日～6月20日は、新型コロナウイルス感染拡大予防による臨時休館のため、4月の実績値は4月1日～24日分、6月の実績値は6月22日～30日の分

<推計値>

	会議室 1	会議室 2	展示 スペース	施設全体	推計
4 月	73.1%	53.8%	96.2%	74.4%	あり
5 月	42.3%	46.2%	100.0%	62.8%	あり
6 月	73.1%	46.2%	92.3%	70.5%	あり
7 月	66.7%	51.9%	100.0%	72.8%	あり
8 月	65.4%	73.1%	76.9%	71.8%	
9 月	61.5%	53.8%	100.0%	71.8%	
10 月	77.8%	51.9%	100.0%	76.5%	
11 月	92.0%	76.0%	28.0%	65.3%	
12 月	83.3%	83.3%	25.0%	63.9%	
1 月	58.3%	50.0%	87.5%	65.3%	あり
2 月	62.5%	62.5%	95.8%	73.6%	あり
3 月	85.2%	77.8%	77.8%	80.2%	あり
年度通算	70.1%	60.4%	82.1%	70.9%	

※緊急事態宣言の発令中やまん延防止重点措置の要請中に新型コロナウイルス感染拡大予防のため、予約・仮予約されていた利用が取りやめになった分について「利用があった」ものと仮定して算出
(推計の欄に「あり」とある月は推計値、ない月は実績値と同じ)

※合計は臨時休館していた4・5月を含んだものと除いたもののそれぞれを記載

③会議室等の申込状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	27	2	30	38	62	40	54	43	63	37	38	80	514件
貸室	27	2	29	37	62	40	54	42	63	37	38	80	511件
指定	2	2	6	10	21	14	11	10	21	6	16	41	160件
自主	0	0	2	1	3	2	2	1	3	1	2	3	20件
環境	21	0	17	21	33	18	31	28	36	27	13	32	277件
環境外	4	0	4	5	5	6	10	3	3	3	7	4	54件
備品	4	0	6	13	15	13	22	9	26	10	14	22	154件
指定	0	0	0	4	6	5	7	2	11	3	6	11	55件
自主	0	0	1	1	3	1	2	1	2	1	1	2	15件
環境	4	0	5	6	6	6	8	6	13	6	4	9	73件
環境外	0	0	0	2	0	1	5	0	0	0	3	0	11件
キャンセル	11	9	4	0	5	1	1	1	2	7	6	2	49件

※合計は、備品などの追加手続きも含んだ承認の件数

※キャンセルのうち、使用料の還付請求は2件

④会議室等の利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
合計	26	2	18	34	47	39	39	51	62	32	33	51	434件
貸室	26	2	18	34	47	39	39	51	62	32	33	51	434件
指定	6	2	4	12	15	15	11	9	16	9	14	31	144件
自主	0	0	2	0	2	2	1	3	4	1	0	2	17件
環境	18	0	11	19	24	17	21	27	39	20	15	15	226件
環境外	2	0	1	3	6	5	6	12	3	2	4	3	47件
備品	2	0	4	7	13	8	11	19	21	10	9	17	121件
指定	1	0	0	4	7	4	6	3	7	4	7	9	52件
自主	0	0	1	0	2	1	1	3	3	1	0	1	13件
環境	1	0	3	3	2	2	4	8	11	5	2	5	46件
環境外	0	0	0	0	2	1	0	5	0	0	0	2	10件

※追加手続きの有無に関わらず、1件とカウント

⑤使用料（利用料金）の収入の状況

月	合計		納付分		庁内振替	
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	件数	金額（円）
4 月	4	6,000	4	6,000	0	0
5 月	0	0	0	0	0	0
6 月	4	4,400	4	4,400	0	0
7 月	5	10,200	5	10,200	0	0
8 月	5	5,300	5	5,300	0	0
9 月	6	15,800	6	15,800	0	0
10 月	10	82,500	8	75,600	2	6,900
11 月	3	3,900	3	3,900	0	0
12 月	3	5,400	3	5,400	0	0
1 月	3	8,700	2	7,500	1	1,200
2 月	7	19,800	7	19,800	0	0
3 月	4	8,100	4	8,100	0	0
合計	54	170,100	51	162,000	3	8,100

※還付 2 件（申込 4 件分・6,000 円）があったため、2021 年度の決算額は 164,100 円

⑥来場者数に含まれない参加者数

【施設外での開催分】

内容	参加者数	備考
身近な生き物調査	93 人	報告会・調査活動など（センター外での実施分のみ）
自然観察会	116 人	4 回
自然学習講座	48 人	2 回
自然ふしぎ発見クラブ	163 人	5 回（センター外での実施分のみ）
自然環境の保全活動	28 人	2 回
ぴったんこ隊 mini	27 人	1 回（センター外での実施分のみ）
合計	475 人	

※内容はすべて「3. 管理運営業務の実施状況」に記載

※ここでいう参加者数とは、センター内で実施したと仮定したら来場者数にカウントされる人数を意味しているため、スタッフ数も含んでいる。

【オンラインでの参加者】

内容	参加者数	備考
地球温暖化防止講演会	33 人	
暮らしやモノを考える講座（布なぷきん）	1 人	
自然学習講座	5 人	1 回（オンラインでの開催分のみ）
ESD セミナー	7 人	2 回
持続可能な消費に関する講座	2 人	
合計	48 人	

※内容はすべて「3. 管理運営業務の実施状況」に記載

5. 管理運営業務に係る経費の収支状況

2021 年度 豊中市立環境交流センター指定管理業務 収支決算書

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

(単位:円)

収入						
項目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. その他	施設管理
指定管理委託料	15,895,000					
事業収入	223,035	25,900	0	81,600	0	115,535
収入合計	16,118,035					
支出						
科目	合計	1. 交流の場の提供	2. 情報収集・提供	3. 講座の開催	4. その他	施設管理
人件費						
賃金手当	9,583,345					
通勤交通費	202,200					
法定福利費	1,643,574					
退職金共済制度掛金	387,000					
福利厚生費	21,669					
職員研修参加費	8,000					
賃金振込手数料	25,190					
人件費計	11,870,978					
事業費						
外注費	1,219,438	0	0	0	0	1,219,438
備品費	0	0	0	0	0	0
図書費	35,288	0	35,288	0	0	0
印刷費	198,284	11,740	10,085	43,840	330	132,289
通信運搬費	424,357	132,603	460	11,012	2,644	277,638
消耗品費	595,478	21,756	17,207	50,837	5,000	500,678
旅費交通費	88,080	13,600	39,000	35,480		0
諸謝金	415,550	51,700	0	363,850	0	0
保険料	21,745	0	1,200	15,090	0	5,455
賃借料	364,764	0	0	0	0	364,764
光熱水費	1,117,249	0	0	0	0	1,117,249
租税公課	800	0	0	0	0	800
雑費	37,356	10,221	372	20,768	0	5,995
事業費計	4,518,389	241,620	103,612	540,877	7,974	3,624,306
支出小計	16,389,367					
消費税及び地方消費税	732,638					
収支差額	△1,003,970					

(参考) 施設管理の費用内訳

内容	科目	金額	備考
電話代	通信運搬費	157,838	
阪急緊急用専用回線使用料	通信運搬費	33,077	
インターネット利用料	通信運搬費	84,920	プロバイダ、ドメイン
郵便代	通信運搬費	1,803	
リース代	賃借料	364,764	複合機、大型プリンター、紙折機 印刷機（再リース）
コピー代	印刷費	132,289	
消耗品（全般）	消耗品費	384,509	
消耗品（新型コロナ対策）	消耗品	116,169	飛沫防止スクリーン、マスク
修繕費用	外注費	205,700	スクリーン修理 空調設備室外機基板取替修理工事
その他の修理	外注費	4,840	自転車修理
電気代	光熱水費	1,093,816	
水道代	光熱水費	23,433	
保険	保険代	5,455	賠償責任保険
印紙代等	租税公課	800	印紙代
清掃委託	外注費	282,150	
ごみ処理委託	外注費	13,948	
機械警備委託	外注費	211,200	
消防用設備保守点検	外注費	66,000	
空調設備保守点検	外注費	319,000	
自動扉保守点検	外注費	116,600	
振込手数料（外注費他）	雑費	5,995	
合計		3,624,306	